

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年2月27日

若者（12～18才）におけるファイザーワクチン接種の重症化防止効果

【松崎雑感】

中学生、高校生でのワクチン接種効果のNEJM論文紹介です。

入院リスク、重症化リスクが20分の1から50分の1に減ること、また、ブレイクスルー感染しても、重症化が4分の1人減るという事です。

若者（12～18才）におけるファイザーワクチン接種の重症化防止効果

Olson SM, et al. **Effectiveness of BNT162b2 Vaccine against Critical Covid-19 in Adolescents.** **N Engl J Med.** 2022 Feb 24;386(8):713-723. doi: 10.1056/NEJMoa2117995. Epub 2022 Jan 12. PMID: 35021004; PMCID: PMC8781318.

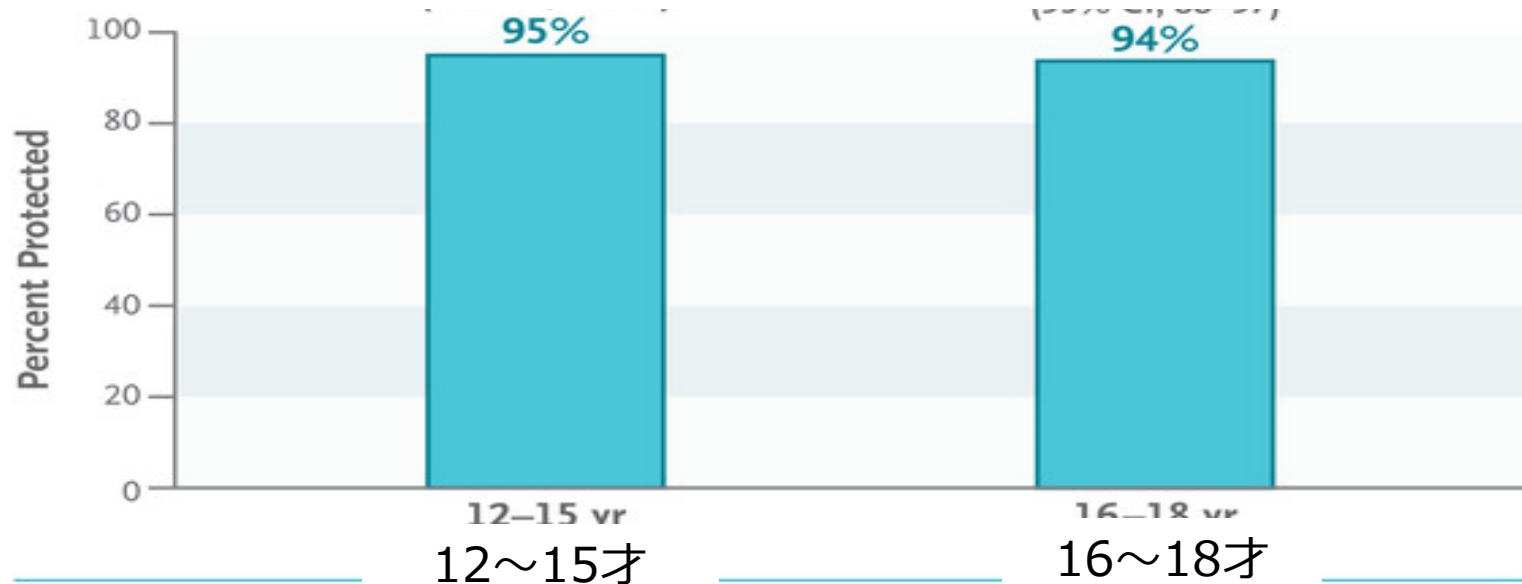
【要旨】

米国調査。2021年7月から11月に（入院の必要な病状があったため入院したが）入院後コロナ感染が判明した12～18才の人々445名（症例群）と、入院後新型コロナ感染が否定された777名（対照群）について、ファイザーワクチン接種の有無別に新型コロナによる重症化・死亡リスクの差を検討した。

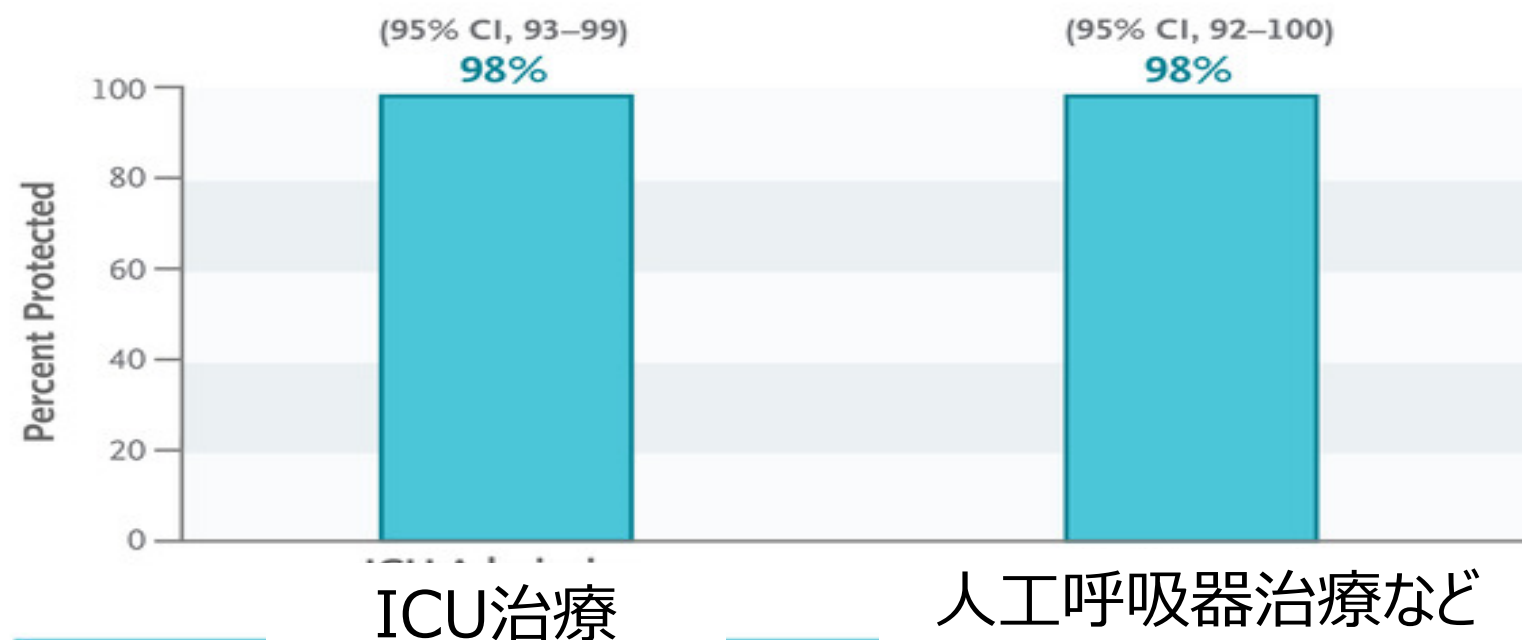
新型コロナ感染者中のワクチン2回接種完了者は4%、非感染者のワクチン完了率は36%だった。12～18才の若者において、ワクチン完了者はワクチン未接種者よりもおよそ95%入院リスクが低下し、ICU治療あるいは人工呼吸器治療を受けるリスクが98%低下していた。

＜結論＞ ワクチン完了者では、入院リスクが20分の1、重症化リスクが50分の1に減っていた。

ワクチン完了による入院リスク低下率



ワクチン完了によるICU・人工呼吸治療リスク低下率



ワクチン接種の有無別 ICU治療が必要となった感染者の比率 (12~18才)

